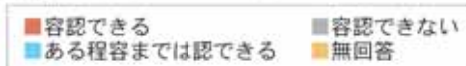


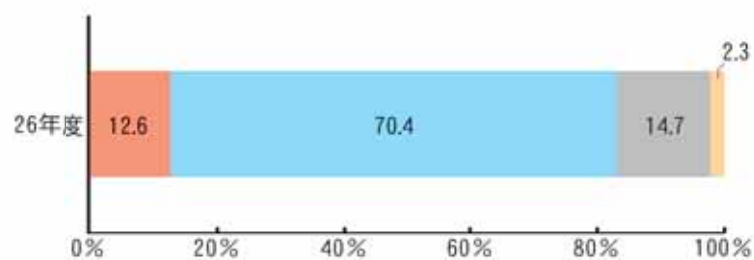
## 公 共 施 設

### 8割以上が対応を容認

公共施設の更新(老朽化)問題への対応を進めることについて「ある程度まで容認できる」が約7割と最も高くなっています。容認度(「容認できる」「ある程度容認できる」の合計)は8割以上を占めています。



問 公共施設の更新問題への対応を進めると、公共施設の統合・廃止、使用料の値上がりなどが起こりうるが、容認できるか？



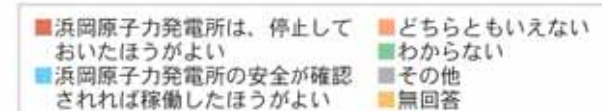
## 原 発

### 過半数以上が原発停止

問 浜岡原発の今後についてどう思うか？



浜岡原子力発電所の今後については「停止しておいたほうがよい」が55.3%で過半数を占めています。次いで「安全が確認できれば稼働しておいたほうがよい」が19.4%となっています。「その他」の中には廃炉などの意見が、2.0%含まれています。



## 居 住

### 住み続けたい人が6割

今の住まいの場所に「住み続けたい」が約6割と最も高くなっています。他の場所に移りたい理由では、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が最も高い割合を占めています。



問 今の居住地に今後も住み続けたいか？



### 市の行政サービスについて

市の取組について満足しているか、また、その取組みが重要であると考えているかとの57項目の設問に対して、満足度が高かった取組みは、「学校や地域で子どもを守る取組み」、「こども医療費制度」、「教養を高める機会・サークル活動への参加機会の提供」と続いています。重要度が高かった取組みは、「学校や地域で子どもを守る取組み」、「救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制」、「震災・火災・水害・浸水対策への取組み」と続いています。今回の調査で初めて「学校や地域で子どもを守る取組み」が最も重要度の高い取組みとなりました。

## 市民意識調査

### みんながもっと幸せを感じ 住み続けたいと思うまちを目指す

市では、市のさまざまな取り組みに対する市民の意識を把握し、事業の達成度を確認するとともに、今後の市政へ反映させることを目的として「市民意識調査」を実施しました。その結果がまとまりましたので、一部を掲載します。この調査は平成19年度から始まり、今回で7回目の調査となります。詳細は、市ホームページに掲載しています。  
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>  
 問い合わせ 企画課 北西 ☎230040

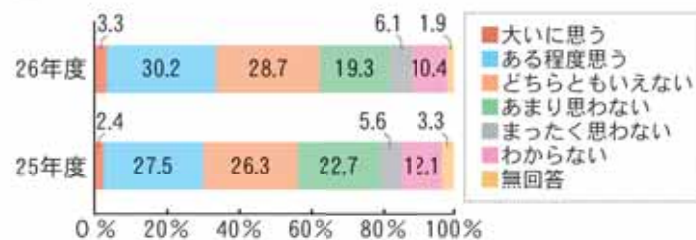
～ 調査の概要 ～  
 調査対象：市内在住(市内に住民票のある人)の16歳以上の男女  
 調査方法：無作為抽出による郵送配布・回収  
 調査期間：平成26年7月18日(金)～8月1日(金)  
 発送数：1,394通  
 有効回収数：787通  
 有効回収率：56.5%  
 \*端数処理の都合上、また、複数回答のため、合計が100%にならない場合があります。

## 子 育 て

### 医療機関の充実がトップ

牧之原市は「子どもを産み育てやすい環境だと思う」(「大に思う」「ある程度思う」の合計)が約3割となっています。子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきこととして、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が最も高く、「医療費の無料化」「地震・津波など災害対策」と続いています。

問 市は子どもを産み育てやすい環境か？



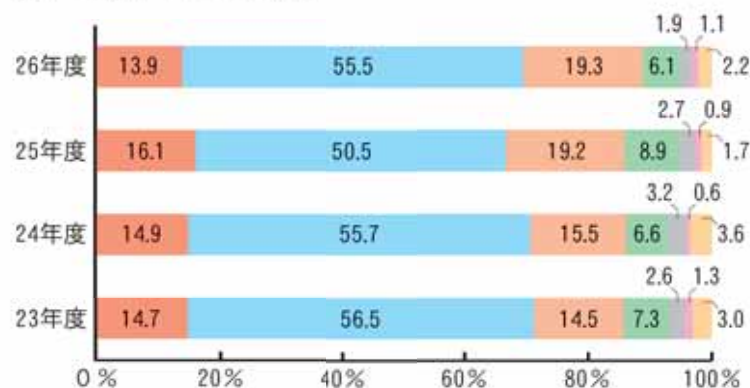
問 子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことは何か？



## く ら し

### 市民の7割が幸せ

問 今現在、幸せだと思うか？



「幸せだと思う」(「大に思う」「ある程度思う」の合計)が約7割となっています。幸せだと思う理由として、「健康であるから」が最も多く、「家族や友人との関係が良好だから」「住まいがあるから」と続いています。

